

16. 田の神（2号原田、3号田神、4号田上、5号市木）

田の神は稲作をつかさどる神で、古代には食飯魂命（うがたのみこと）といわれていたと考えられています。

春になると里に下りて田の神となって田を守り、豊作をもたらし、秋の取入れが終わると山に帰ると信じられていました。

